

4 心豊かな人と文化をはぐくむ まちづくり

◆学校教育

●小・中学校教諭補助員配置事業は、2名増員し16名の指導員を配置し、国語や算数・数学など基礎基本の徹底や特別支援を必要とする子どもへのきめ細かな指導により、さらに学力の向上を図ります。

●放課後児童健全育成事業は、新たに鶴巻小、滝郷小、飯岡小および古城小を加え、合計14か所で実施し、保護者が安心して働ける環境づくりに努めます。

●6月と11月に本市で開催される「生活科・総合的学習」および「教育工学」の全国研究大会を旭市の教育のさらなるレベルアップを図る絶好の機会ととらえ、積極的に支援し

ていきます。

◆義務教育施設の整備

●学校施設は、耐震診断の結果、補強工事で耐震性が確保できると判定



▲第二中学校新校舎完成イメージ

④心豊かな人と文化をはぐくむまちづくり

(主要事業)	(千円)
小学校施設改修事業	25,661
小学校大規模改修事業	656,070
中学校施設改修事業	12,800
中学校大規模改修事業	88,370
海上中学校建設事業	84,600
第二中学校改築事業	783,229
小学校教諭補助員配置事業	12,694
中学校教諭補助員配置事業	8,108
課外活動支援事業	1,678
国民体育大会開催事業	3,700
社会体育施設管理費	128,336
文化振興事業	31,228
大原幽学遺跡「旧宅」半解体修理事業	15,335

された千潟小学校、共和小学校、豊畑小学校、飯岡小学校および千潟中学校について、平成18年度からの2か年事業で、また、中央小学校、鶴巻小学校、滝郷小学校および第一中学校については、今年度に補強工事と大規模改修工事を行います。

●第二中学校の屋内運動場改築工事は、平成20年2月末の竣工を目指し、工事を進めます。また、校舎は、今年度からの2か年事業で改築工事を行います。

●旧海上中学校の体育館と特別教室は、市民が利用する体育施設などとして活用します。

◆社会教育

●市民が生涯にわたって、楽しみや生きがいを持ち、健康で心豊かな生活を送ることができるよう「いつでも、どこでも、だれでも学習ができて、その成果が社会の中で生かされる環境づくり」の実現に向けた事業を展開します。

●学校や社会教育施設等を利用し、学校・家庭・地域の連携、協力の下に子どもたちに、さまざまな自然体験や社会体験等を提供する場を設けます。

●文化振興事業は、東総文化会館を中心に優れた文化芸術の鑑賞の機会の提供や、市民参加事業の推進を図るとともに、文化団体の育成に努めます。

●国指定文化財である大原幽学旧宅の破損や腐食の拡大を防ぐため解体修理を実施し、貴重な文化財の保護

保存に努めます。

●体育振興は、市民駅伝大会や飯岡しおさいマラソン大会等の開催や、小学生から高齢者の方を対象とした、誰でも気軽に参加できる軽スポーツの集いなどを開催し、市民が広くスポーツについて理解と関心を深め、積極的にスポーツ活動に参加する機会の提供に努めます。

●平成22年に千葉県で開催予定の第65回国民体育大会において、卓球競技を旭市で開催するための準備を進めます。

5 活力と躍動感に満ちた まちづくり

◆農業

●水田農業は、年々減少する米の消費に対して、需要に応じた水田作物生産を進めていくことが必要となっており、麦・大豆等の集団転作を進めるとともに、畜産農家と連携し、水田での飼料作物栽培を進めます。



また、「売れる米づくり」のために、首都圏に近い立地条件を生かして、地域の特色を出した米の販売を進めます。

●園芸は、近年の異常気象の影響等で多くの野菜において価格低迷が続いている現状を踏まえ、消費者との交流を深め、消費者と連携した野菜栽培等を進めます。また、認定農業者の施設園芸の規模拡大について、「園芸王国ちば」強化支援事業等により支援します。

●畜産は、旭産の肉・卵等の市場での評価を高め、消費者に旭産の良さを印象づけるブランド化事業の推進が必要となっており、昨年度に市内で豚肉・牛肉等のPR会議を開催したことを契機に、今後さらなる産地PRを図ります。



▲飯岡しおさいマラソン

⑤ 活力と躍動感に満ちたまちづくり

(主要事業)	(千円)
水田農業構造改革推進事業	13,500
「園芸王国ちば」強化支援事業	47,401
畜産環境総合整備統合事業	168,774
食肉等流通体制整備事業	364,651
地域水産物供給基盤整備事業	32,660
水産基盤整備事業	8,800
商工業振興事務費	18,626
商業活性化推進事業	18,670
企業誘致促進事業	11,080
観光施設整備事業	30,000
長熊釣堀センター管理費	10,812

●認定農業者の育成・確保を図るために農業経営基盤強化資金および農業近代化資金について、平成19年度からの3年間に限り、無利子の融資が実施されるため、月2回、農水産課内に農林漁業金融公庫職員による資金相談窓口を開設し、認定農業者がスムーズに国等の支援を受けられる体制を整えます。

◆商業

●幽学の里で米作り交流事業は、医療福祉・食・交流の郷づくり事業の一環として、今年度も都市住民はもとより地元住民も含め、体験農業による交流の輪を広げていきます。

◆水産業

●つくり育てる漁業を推進するとともに、漁港の航路確保のための浚渫と、市民が散策できるような護岸堤防の整備等、漁港機能の充実を図ります。

◆工業

●あさひ鎌数工業団地C・D地区への企業誘致は、昨年度に進出希望がある「ちばデザイン・シヨンキャン

◆観光

●千葉県が4月30日まで展開している「ちばデザイン・シヨンキャン

◆行政改革

●定員適正化計画に基づき新規採用者数を定年退職者数の3分の1程度にとどめ、職員数を縮減します。

●市民の連帯強化や地域振興を図るための地域振興基金を積み立てます。

●集会施設や地区行事用備品の整備等に助成します。

●施設改善と経営改善に取り組むこととし、今年度は、レストランおよび外壁等の改修工事を実施するほか、旭市が誇る「新鮮で豊富な食材」を生かした「食彩の宿」づくりを進めます。



▲幽学の里で米づくり交流



▲飯岡荘改修工事完成イメージ

⑥ 共につくる夢のあるまちづくり

(主要事業)	(千円)
医療福祉・食・交流の郷づくり事業	6,500
コミュニティ育成事業	12,970
地域振興基金積立金	621,000
沖縄交流事業	1,888

6 共につくる夢のあるまちづくり

◆地域振興基金の造成

●市民の連帯強化や地域振興を図るための地域振興基金を積み立てます。

◆コミュニティ育成

●集会施設や地区行事用備品の整備等に助成します。

●施設改善と経営改善に取り組むこととし、今年度は、レストランおよび外壁等の改修工事を実施するほか、旭市が誇る「新鮮で豊富な食材」を生かした「食彩の宿」づくりを進めます。

●海上支所と飯岡支所の産業室を廃止し、両支所に農水産課と商工観光課の分室を置き、何人かの職員が常駐する体制をとります。

●民間委託等の推進は、干潟保育所への指定管理者制度の導入を1年先送りし、6か月の引き継ぎ期間を設定した後、平成20年度から導入します。



●海上支所と飯岡支所の産業室を廃止し、両支所に農水産課と商工観光課の分室を置き、何人かの職員が常駐する体制をとります。